

気候変動に強い農業の実現に向け、エンドファイトとの共同プロジェクトを推進
～福井県嶺南地域でDSEを活用した稲作実証を推進、田植えを実施～

2026年5月26日
関西電力株式会社
株式会社エンドファイト
福井県嶺南振興局

関西電力株式会社(以下、関西電力)、株式会社エンドファイト(以下、エンドファイト)は、福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議^{※1}にて示された将来像の実現に向けた取組みの一環として、農業分野における地球温暖化や干ばつ等の気候変動への対応という地域課題の解決を目的とした共同プロジェクトを2026年4月から開始しています。

本プロジェクトでは、エンドファイトが有する植物内生菌「DSE (Dark Septate Endophyte)」技術^{※2}を活用し、嶺南地域の農業特産品を対象に、環境ストレス耐性の強化や生産性向上などを通じて、地域農業の持続可能性向上に資する取組みを推進しています。

その取組みの一つとして、関西電力、エンドファイトおよび福井県嶺南振興局は、稲作における共同実証を進めており、その一環として本日、田植えを実施しました。本実証では、福井県のブランド米「いちほまれ」を対象に、DSEを接種した苗と従来苗を比較し、近年の厳しい栽培環境条件下における生育状況や収量、品質等を検証します。

本実証を通じて、DSEの稲作への適用可能性を確認するとともに、収量および品質の維持・向上に資する新たな栽培技術の確立を目指します。

今後は、本実証で得られる成果をもとに、地域に適した農業技術の確立と展開を進めるとともに、持続可能で収益性の高い農業モデルの構築につなげていきます。

※1 原子力発電所が立地する嶺南地域の持続的な発展を実現すべく「立地地域の将来像」について議論する場として立ち上げられたもの。

※2 森林土壌から分離された植物内生菌であり、植物の根に共生することで、生育促進や環境ストレス耐性の向上(高温・低温・乾燥等)、養分吸収の促進などの効果が期待でき、気候変動の影響を受ける農業において安定的な生産を実現するバイオスティミラント資材。

以 上